

令和4年度 大阪市立信太山青少年野外活動センター  
施設管理運営業務事業報告書

指定管理者の名称 一般財団法人 大阪市青少年活動協会

事務所の所在地 〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-35

代表者の氏名 会長 出田 善蔵

担当者の氏名 大阪市立信太山青少年野外活動センター所長 三保 洋士  
及び連絡先 (連絡先) 06-6942-0410

指定の期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

年度の区分 令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

管理運営施設の概要

大阪市立信太山青少年野外活動センター

所在地 〒594-0023 大阪府和泉市伯太町3-12-86  
TEL 0725-41-2921

敷地面積 165,341㎡

主な施設 青少年の家

- ・延床面積 2,709㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 本館2階建(一部平屋) 宿泊棟2階建
- ・定員 24室 200名
- ・施設内容 宿泊室、研修室、食堂、浴室、体育館、事務室、厨房、便所、  
野外炊事場、2.5mプール、キャンプファイア場等

キャンプ場

- ・定員 宿泊サイト 3サイト:190名  
日帰サイト 2サイト(7棟):400名
- ・施設内容 テント設備、野外炊事場、事務室、便所、多目的広場等

# 1. 指定管理業務の実施状況

## (1) 管理運営方針

次の7つを運営方針として、その目標達成に向けて全力で取り組みました。

- ① 利用者の安全確保を最優先に管理運営を行います。
- ② 「利用者第一」を基本に利用者の権利を守り、公平・平等な利用を確保し、公正で質の高いサービスを提供し、利用促進に努めます。
- ③ 個人情報には厳正かつ適正に取扱い、社会的ルールを遵守するとともに、常に公平・公正な職務の執行を行い、コンプライアンスの徹底を図ります。
- ④ 人権尊重と接遇に配慮し、信頼と透明性のある管理運営を行います。
- ⑤ 地域の特性を有効に活用した市民協働による管理運営をめざします。
- ⑥ 教育・研修を通じて人材育成を図り、施設の教育力を高めます。
- ⑦ 環境に配慮した管理運営を行い、環境にやさしい施設をめざします。

## (2) 業務目標に対する評価

前述の運営方針に基づき、業務目標と運営計画を定め、野外活動センターの設置目的と効用を最大限に発揮し管理運営に取り組みました。しかしながら、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症は収束せず、センターの事業活動においてもさまざまな影響が生じました。そのような厳しい状況の中、利用する方々が安全に安心してご利用いただけるよう感染対策を徹底し、より質の高い体験活動の提供に努めました。

### ① 安全の確保と安心の提供

安心してご利用いただくためのガイドライン（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのご利用のお願い）を定め、利用者に周知し、徹底をお願いしました。また、安全確保に関する情報収集や感染防止対策の策定・実施・見直しを適宜行うとともに、全職員に対する安全教育を行いました。

### ② 信太山ならではの魅力ある体験活動の提供

学校園団体に対して、行事の目的に応じた信太山オリジナルのプラン（弥生体験、チームビルディング、薪割り&ピザ作り、幼児の自然体験等）の提供を行っています。職員のさらなる指導力向上と利用促進活動を強化し、信太山ならではの魅力ある体験活動の提供を行いました。

### ③ バーベキューヴィレッジの効果的な運用

平日はより多くの学校園に遠足や校外学習で利用していただくこと、休日は一般団体にむけて、季節に合わせたイベントや信太山ならではの体験活動を提供することをねらいとし、利用促進に努めました。

### (3) 職員の配置状況

職員のマルチスタッフ化による効率的な運営と共に、施設の繁忙時や自主事業については、協会全体で人的支援体制を整備し、フレキシブルな人員配置を行い臨機応変に対応しました。

#### ① 総括責任者（所長）

施設の経営能力を備え、施設の管理運営の実績があり、管理職として責任ある業務を遂行できる職員を配置しました。

#### ② 総括責任者補佐（副所長）

総括責任者を補佐するため、施設の経営能力を備え、施設の管理運営の実績があり、管理職として責任ある業務を遂行できる職員を配置しました。

#### ③ 管理事務及びプログラム指導業務担当者

施設の管理運営及びプログラム指導に関する知識・技術を備えているとともに、利用受付、清掃、プール管理など利用者の活動を快適なものにする業務や利用相談に対応できる職員を配置しました。

#### ④ ボランティアスタッフ

- ・利用者対応や環境整備をともに行うキャンプスタッフを養成しました。
- ・里山保全活動ボランティアの育成に取り組みました。

#### ⑤ 資格等を有する業務担当者の配置

- ・甲種防火対象物の防火管理者を配置しました。
- ・プール衛生管理者、ならびにプール施設管理士を配置しました。
- ・食品衛生責任者を配置しました。
- ・安全衛生推進者を配置しました。

#### ⑥ 他に職員の有する資格

キャンプディレクター（1級）、NEAL コーディネーター、応急手当普及員、レクリエーションコーディネーター、小学校長期自然体験活動全体指導者 等

### (4) 施設・設備の維持管理に関すること

施設及び附属設備の維持管理業務を利用者の安全を確保する上でもっとも大切な業務と位置づけ、常に良好な状態を保つことで故障等による危険性の低減を図り、事故の未然防止を通じて利用者の安全と安心を確保しました。また、日常業務を通じて施設のポテンシャルを常に高いレベルで維持・発揮できるよう、協会が有する青少年施設の維持管理のノウハウを十分に適用した環境整備を行い、利用者にとって快適かつ満足できる利用環境の提供に努めました。

- ① すべての利用者が安全で安心して、かつ快適にご利用いただけるよう施設管理を確保し、衛生環境を良好に保つことに努めました。
- ② 業務に係る関連法規・通知・要領等コンプライアンスを遵守し、仕様書の定め通り、業務を適正に行いました。
- ③ 公共施設は大切な共有財産であることを念頭に、建物をはじめ諸設備の長寿命化を図るべく、予防保全対応を基調に、施設の維持管理に取り組みました。

- ④ P D C A マネジメントシステムを用いて取り組み結果を見直すことにより、継続的な改善を可能な限り行いました。
- ⑤ 維持管理及び保守保全に係るコストの縮減と効率化を図るとともに、環境負荷に配慮した業務を行いました。

ア) 施設設備の管理業務

・ 汚水処理設備保守点検

「(株)西原ネオ 大阪支店」による保守点検

(4月5・15・26日、5月6・17・28日、6月7・17・24日、7月6・16・26日、8月4・17・26日

9月6・17・27日、10月8・18・25日、11月5・16・25日、12月6・17・27日、1月7・17・25日、

2月4・15・24日、3月8・18・28日)

・ 電気設備定期点検

「(一財)関西電気保安協会」による定期点検

(4月20日、6月2日、8月24日、10月25日、12月7日、2月15日)

・ 消防設備点検

「サンコー設備(株)」による点検 (7月13日:機器点検、1月25日:総合点検)

・ 昇降機定期点検

「ダイコー(株)」による定期点検

(4月6日、5月31日、6月7日、7月1日、9月2日、10月7日、11月2日、

1月5日、3月22日)

・ 空調設備保守点検

「(株)日立ビルシステム」による点検 (5月13日、8月18日、10月28日)

・ 温水ヒーター保守点検

「(株)ヒラカワ」による点検 (7月6日、2月3日)

・ 浄化槽法定検査

「大阪府環境水質指導協会」による検査 (1月25日)

・ 浴室濾過設備点検

「鶴亀温水器工業(株)」による点検 (3月14日)

・ プール水質検査

「(株)HER」による検査 (7月22日、8月22日)

・ ボイラー室貯湯槽清掃点検

「東京海上日動ファシリティーズ(株)」による点検 (9月6日)

・ 用地管理

職員・用地管理スタッフ・パートタイマー等による管理 (通年)

・ 防火設備定期検査

「東京海上日動ファシリティーズ(株)」による法定点検 (1月12日)

・ 建築設備定期点検

「東京海上日動ファシリティーズ(株)」による法定点検 (1月13日)

- ・プールろ過装置点検  
「光伸株式会社」による点検（7月20日、9月16日）
  - ・警備業務  
「(株) 関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」(通年)
- イ) 清掃業務
- ・日常の清掃業務  
職員、ボランティアスタッフ、(公社)和泉市シルバー人材センター
  - ・その他の清掃業務  
「(一財)大阪防疫協会」による衛生害虫駆除（5月9日）  
「(一財)大阪防疫協会」による殺菌消毒（5月16日）  
「(株)泉宏産業」によるプール清掃（7月14日）  
「(株)泉宏産業」による青少年の家体育館・食堂・ロビー・研修室等の床面洗浄とワックス塗布（2月14日）
- ウ) 修繕・補修業務
- ・吸収式冷温水機修理（青少年の家）
  - ・宿泊室・避難扉建付け修理（青少年の家）
  - ・自走式草刈機修理（青少年の家）
  - ・厨房屋上パッキンコーキング（青少年の家）
  - ・体育館屋上パッキンコーキング（青少年の家）
  - ・敷地境界竹の伐採（キャンプ場）
  - ・ナラ枯れ樹木の伐採（キャンプ場）
  - ・外周フェンス沿い樹木の剪定（キャンプ場）
  - ・空調機ドレン修理（青少年の家）
  - ・埋設水道管漏水工事（キャンプ場）
  - ・厨房水道管漏水工事（青少年の家）
  - ・電話線改修（青少年の家）
  - ・LED照明交換工事（青少年の家・キャンプ場）
  - ・浄化槽放流ポンプの改修（青少年の家）
  - ・空調機の改修（キャンプ場）
  - ・宿泊室A棟の畳入れ替え（青少年の家）
  - ・無線機 デジタル変換（青少年の家・キャンプ場）
  - ・青少年の家 宿泊室・研修室排煙窓改修（大阪市修繕）
  - ・青少年の家・キャンプ場 消防・放送設備改修（大阪市修繕）
- エ) 備品管理業務
- ・ヘッジトリマーの購入（青少年の家）
  - ・刈払機の購入（青少年の家）
  - ・レシプロソーの購入（青少年の家）
  - ・玄関泥除けマットの購入（青少年の家）

オ) 警備業務

職員による日々施設内の巡回ならびに、休館日及び業務時間外は機械警備を実施し、事故防止や防犯に努めました。

カ) 防火管理業務

消防・防災訓練等を実施するなど、防火管理に努めました。

キ) 利用者の安全確保及び防災ならびに事故発生等の緊急時対応業務

危機管理マニュアルや緊急連絡手順など様々な緊急事態を想定した危機管理体制を整備し、必要な措置を講じました。

ク) 関係機関との連携

大阪市、消防署、保健所、警察署への各種申請及び届出や報告を適切に行うとともに、必要に応じて問合せや相談を行いました。

## 2. 利用状況

### (1) 開設期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

① 休館日

- ・夏休み期間と春休み期間を除く月曜日
- ・12月29日～ 1月 5日（年末年始）

### (2) 開館日数、宿泊可能日数

① 開館日数 317日

② 宿泊可能日数 278日

③ 部屋・サイト定数、利用定員

	青少年の家	キャンプ場 (宿泊)	キャンプ場 (日帰り)
種別	4棟	3エリア	2エリア
部屋・サイト数	24室	3サイト	2サイト(7棟)
利用定員	200名	190名	400名

### (3) 施設別年間利用者統計

エリア	区分	小計	エリア合計	合計
青少年の家(宿泊)	宿泊利用者数	12,041	29,052	60,922
	日中利用者数	17,011		
キャンプ場(宿泊)	宿泊利用者数	2,844	7,002	
	日中利用者数	4,158		
キャンプ場(日帰り)	日中利用者数	24,868	24,868	

#### (4) 月別開館稼働率・施設稼働率・宿泊稼働率・日中稼働率 (別紙1)

### 3. 施設運営及び実施事業、自主事業に関する報告

#### (1) 施設運営

センターの使命をふまえた運営方針に基づき、以下の通り管理運営を行いました。

##### ① 受付業務

予約・相談・申込・変更・キャンセル等の受付業務を行いました。なお、大阪市民の方が手続き等を簡便に行えるよう、大阪市内の活動協会事務局でも相談・受付業務を行いました。予約受付は、次のとおり行いました。

ア) 大阪市内の学校園による予約を優先しました。

- ・令和5年度分 学校園団体日程調整会 「アネックス<sup>®</sup>ル法円坂」  
4月26日・・・ 26学校園参加

イ) 希望がとくに多い時期(夏季など)とその他の時期については、適切な区分等を設けて日程調整会を開催し、公平な利用と施設の有効利用に努めました。

- ・令和5年度分 大阪市内団体(夏季期間を除く)日程調整会「アネックス<sup>®</sup>ル法円坂」  
9月 5日・・・ 23団体参加
- ・令和5年度分 大阪市内団体夏季利用 日程調整会 「アネックス<sup>®</sup>ル法円坂」  
9月 5日・・・ 18団体参加

ウ) 施設の休館日の問合せについては、大阪市内の活動協会事務局で対応しました。

エ) 予約キャンセルの頻発やダブルブッキング等のトラブルが生じないように、施設と活動協会事務局とで密接な連携を図りました。

オ) 休館日の開館依頼があれば休館日変更を申請し、利用者を受け入れました。

- ・開館申請件数・・・ 6件

カ) 新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルとなった団体に対して、速やかに代替日程や代替プログラムを提案することで、日帰りや宿泊日数変更による予約を多数受付しました。

##### ② 施設利用の促進、広報

施設のPRや情報提供のために、次のとおりに、必要な媒体の作成、配布等を行いました。また、各種情報の収集や提供を大阪市をはじめとする近隣市町村等と連携し実施しました。

ア) ホームページ・SNS(ブログ・Facebook・Instagram)の更新

イ) 大阪市の行政施策に関する各種広報物の掲示及び配布

ウ) 大阪市24区の広報担当に施設の情報提供と区広報への掲載依頼

- 大阪市 区報「BBQ Village」の記事掲載(阿倍野区・都島区)
- サンケイリビング新聞社に「BBQ Village」の記事掲載

エ) 近隣公共施設(大阪府立弥生文化博物館・泉大津市立池上弥生学習館)や和泉市役所(市長公室、広報協働推進室・いずみアピール課、環境産業部)

- 産業振興室・商工観光課 及び 環境保全課)との連携・協力
- オ) 和泉市、堺市、泉大津市、岸和田市 等の公共施設や商業店舗（近隣店舗・アウトドア関連取扱ショップ）等へ施設案内リーフレットやチラシの配布
  - カ) 「BBQ Village」体験イベントの実施
  - キ) 自主事業「女性のためのソロキャンプ」を実施した際にロケ取材を受ける（J：COM LIVE ニュースにて配信・オンエア）
  - ク) 泉大津市立池上曾根弥生学習館主催の稲作体験講座・弥生村の米作りにおいて「みんなで火おこし体験」指導
  - ケ) 大泉緑地において、ボーイスカウト カブラリー「みんなで火おこし体験」を指導
  - コ) 泉大津市市制 80 周年記念イベント ふれあい祭りにクラフトワークショップ出展
  - サ) 関西環境教育学会ニューズレターに、センターの取り組みとして「ミツバチから見える環境教育」掲載
  - シ) 大阪市立小・中学校幹事校長会にて「校外学習の誘い」チラシ配布&プレゼン代読

### ③ 施設等利用の案内及び利用者支援

- ア) 下見等の応接・案内、高齢者・障がい者等の補助を行いました。また、来館者・利用者に対し、施設利用に関する案内及び支援を行いました。
- イ) 学校園団体・夏季期間に利用する団体向けに、下見説明会を開催しました。
  - ・学校園下見説明会
    - 4月 4日・・・ 5団体参加
    - 4月 5日・・・ 8団体参加
    - 4月 7日・・・ 14団体参加
    - 4月 9日・・・ 12団体参加
  - ・夏季利用団体下見説明会
    - 5月29日・・・ 11団体参加
    - 6月 5日・・・ 8団体参加
- ウ) 夜間対応
 

宿泊利用者がある場合には、職員を含めたスタッフを2名以上配置しました。
- エ) 急病・けが人等への対応
 

利用者等の急病、けが等に対応できるよう、近隣の医療機関等と連携し、緊急時には的確な対応を行いました。施設内で起こったけが等については、速やかに応急処置を行いました。
- オ) 効率的な人員配置
 

繁忙時や自主事業については、協会全体で人的支援体制を整備し、効率的な人員配置を心がけて臨機応変に対応しました。
- カ) 遺失物・拾得物の処置・保管業務
 

法令等に従い、適切に行いました。

#### ④ 提供プログラム

さまざまな目的を持った団体が有意義に活動できるよう、多くの活動プログラムを用意し、備品・用具の貸し出し、材料の提供を行いました。また、野外活動経験の少ない方でも安全で楽しくプログラムが展開できるよう、ねらいや手順、所要時間、安全上の注意等を記載したプログラムシートの提供を行いました。

ア) くずのはハイキング

(星の子コース・信太の森コース・信太の森ロングコース・こぎつねコース)

イ) フィールドサーチ

ウ) ネイチャービンゴ

エ) キャンプファイア、キャンドルファイア

オ) フライングディスクゴルフ

カ) グラウンドゴルフ

キ) 室内オリンピック (物品貸し出し)

ク) フィールドアスレチック

ケ) 杉焼き板工作、動物焼き板工作

コ) マイ箸作り

サ) まが玉作り

シ) ウッドペンダント作り

ス) キューブカレンダー作り

セ) ひのきのうちわ作り

ソ) お餅つき (物品貸し出し)

## (2) 実施事業

センターの使命をふまえた運営方針に基づき、以下の通り事業を実施しました。

### ① ボランティアスタッフ、野外活動指導者等の人材育成

ア) ボランティアスタッフの養成・研修を行いました。

・登録者数・・・18名

イ) 野外活動指導者の養成・研修 (リーダースクール) を行いました。

・4月3日・・・37名参加

・5月8日・・・27名参加

・5月22日①・・・15名参加

・5月22日②・・・15名参加

・6月4日・・・20名参加

・7月17日・・・32名参加

・9月11日・・・15名参加

・12月1日・・・28名参加

・2月21日・・・61名参加

・2月25日～26日・・・6名参加

- ・ 3月17日 . . . . . 17名参加
- ウ) 野外活動指導者を対象とした人材バンク業務（リーダーバンク）を行い、継続的な研修を行いました。
- ・ 10月30日 . . . . . 32名参加
- ・ 11月 3日 . . . . . 13名参加
- ・ 2月19日 . . . . . 13名参加
- エ) 専門的な野外スキルを身につけるための研修（キャンプアカデミー）を行いました。
- ・ 5月28日～29日 . . . . . 42名参加
- ・ 6月25日～26日 . . . . . 21名参加
- ・ 2月25日～26日 . . . . . 12名参加

② 野外活動及び自然体験活動事業

信太山の豊かな自然環境や、特徴的な歴史にふれる機会を提供する事業を実施しました。

ア) 森のようちえん

- ・ 10月30日 . . . . . 24名参加
- ・ 11月20日 . . . . . 16名参加
- ・ 12月11日 . . . . . 24名参加
- ・ 1月22日 . . . . . 27名参加
- ・ 2月12日 . . . . . 34名参加

イ) クラフト体験

- ・ 10月2日 . . . . . 13名参加

ウ) 里山ボランティア体験

- ・ 7月 3日 . . . . . 31名参加
- ・ 9月25日 . . . . . 25名参加
- ・ 11月27日 . . . . . 19名参加
- ・ 1月29日 . . . . . 19名参加
- ・ 3月19日 . . . . . 17名参加

③ 家族交流事業

家族を対象に、自然の中でさまざまな体験をとおして絆を深める事業を実施しました。

ア) 家族でお手軽キャンプ

- ・ 10月22日～23日 . . . 5家族17名参加

イ) ファミリーデイキャンプ

- ・ 12月 4日 . . . . . 19名参加

ウ) たき火で遊ぼう！

- ・ 2月 5日 . . . . . 29名参加
- ・ 2月12日 . . . . . 28名参加

④ 生涯学及び交流事業

生涯学習や市民が交流し学び合う事業を計画しました。

ア) 信太山オープンデー

・ 2月23日 ・ ・ ・ ・ ・ 459名参加

⑤ 施設内食堂での食事の提供

ア) 給食・野外炊事材料の提供を行いました(計31,730食)。

イ) 利用者のニーズに対応したメニューの開発や提供を行いました。

⑥ 大阪市が実施する事業へ協力・参画しました。

ア) 大阪市青少年指導員全体研修会

・ 9月23日

イ) 大阪市立中学校特別支援学級ふれあいステイ

→新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

### (3) 自主事業

市民や利用者とのコミュニケーションや利用者満足度調査を通じて、利用者の意見や要望を積極的に収集し、利用者満足度を把握したうえで、新しいニーズに応えた利用者サービスの向上、施設利用の魅力アップにつなげ、大阪市の青少年健全育成施設としての価値を高めてきました。

① プログラム物品販売

薪(太薪・細薪)、クラフト材料(焼板・まが玉、塗り箸等)、木炭、ローソク等、利用者のニーズや施設の特色を活かした物品の提供を行いました。

② 利用促進事業

ア) 関西シクロクロス(オフロード自転車競技大会)

・ 12月17・18日 ・ ・ ・ ・ ・ 1,740名参加

イ) 信太山ニューイヤークップ(少年少女サッカー大会)

・ 1月15日～16日 ・ ・ ・ 321名参加

ウ) 信太山ウインターカップ(少年少女サッカー大会)

・ 2月18日～19日 ・ ・ ・ 延べ453名参加

エ) 信太の森自然観察体験会(採蜜体験・蜜蝋ローソク作り等)

・ 5月14日 ・ ・ ・ ・ ・ 20名参加

・ 5月28日 ・ ・ ・ ・ ・ 24名参加

・ 10月15日 ・ ・ ・ ・ ・ 15名参加

オ) 女性のためのソロキャンプ体験会

・ 11月26～27日 ・ ・ ・ 5名参加

カ) たき火ウィークエンド

- ・ 10月2日～12月11日までの土曜日開催・・・38名参加
- キ) 新設日帰りサイト (BBQ village) の運営
  - ・年間利用者数 1,478名、140グループ
- ク) 新規プログラム (学校園オリジナルプラン) の提供
  - ・みんなで火おこし体験・・・・・・・・・・・・ 29件
  - ・薪づくり&ドラム缶釜でピザづくり体験・・・ 22件
  - ・クラスビルディング・・・・・・・・・・・・ 18件

## 4. その他

### (1) 利用者サービスの向上

利用者サービスの向上について、以下の通り行いました (抜粋)。

#### ① 感染症対策

- ア) 館内各所に手指消毒用アルコールを設置しました。
- イ) 研修室、体育館、ロビー、食堂に換気用扇風機を設置しました。
- ウ) 食堂やロビーに飛沫感染防止シートを設置しました。
- エ) 大阪コロナ追跡システムへの登録を行いました。
- オ) 野外炊事プログラムの際は、使い捨ての食器類を提供しました。

#### ② その他のサービス

- ア) BBQ village で自然素材を使ったクラフトワークショップや木登り体験等のイベントを実施しました。
- イ) 熱中症予防対策として、野外炊事場に遮光ネットを設置しました (5～10月)
- ウ) バリアフリーサイトに屋外時計を設置しました。
- エ) 宿泊室の和室畳を張替えました。
- オ) 視認性の高い看板を増設しました。
- カ) 野外炊事場のかまどのロストルを新しく入れ替えました。

### (2) 経費縮減に係る取組状況

経費縮減に係る取組について、以下の通り行いました。

#### ① 効率的な人員配置

- ア) 職員のマルチスタッフ化を進め、業務の効率化を図りました。
- イ) 職員の配置については、変形労働時間制を導入することで繁忙期と閑散期の勤務時間調整し、効率的な人員配置を行い、経費縮減に努めました。
- ウ) 予約状況や利用実態に柔軟に対応したシフト勤務を行うことにより職員の適正な配置を実施することで経費の縮減を図りました。

#### ② 効果的・効率的な維持管理

- ア) 各種設備の維持点検や保全業務に係る再委託業務については、『維持管理計画』に基づき、業務水準やコストを見直し、入札あるいは複数の事業者から見積あわせを実施することで、適正な業務水準を確保するとともに、最も安価な事業者を選定しました。
- イ) LCM（ライフサイクルマネジメント）とPDCAマネジメントシステムにより、コストの削減を図り、効果的・効率的な施設運営を実現しました。
- ウ) 消耗品や事務用品は、物品リストによって一元管理し、購入については、物品購入伺（3万円未満）や支出決議（3万円以上）をもって管理を徹底することで無駄を省きました。さらに、私たちのスケールメリットを活かして、プログラム物品や消耗品等の仕入れを共通化することでコストを削減しました。
- エ) 利用のてびき・利用促進チラシ等は、内部で作成することによってコストの削減を図りました。

### ③ 省エネルギー・省資源

- ア) 電気、水道、燃料等のエネルギー関係については、年間を通して定量的に監視し、過年度や利用状況を踏まえた分析を行うことで使用量の適正化を図り、コストの削減に努めました。
- イ) 空調機の設定温度は、夏季は28℃、冬季は20℃を基本とするとともに、作動時期・時間も利用実態に対応しました。また、空調機フィルターの清掃、室外機の洗浄等を定期的に行うことで、省エネルギー・省資源化を図りました。
- ウ) 館内の照明は利用実態に合わせて、こまめに消灯するとともに、利用者にも環境保全への取り組みを説明し、理解と協力を得ました。
- エ) ゴミの分別化・減量化を進め、リサイクルの促進や廃棄物処理費用の削減を図りました。

### ④ その他

- ア) ペーパーレス化（利用案内、手続き書類のデジタル化や裏紙の活用等）を推進しました。
- イ) プログラム指導業務のマニュアル化による業務効率の向上を図りました。
- ウ) 小修繕や案内表示の作成、日常及び定期清掃（一部）は、職員により実施しました。

## (3) 利用者からの要望・苦情等への対応取組状況

利用者からの要望・苦情等への対応について、以下の通り行いました。

### ① 利用者アンケートの実施

利用者満足度や要望・苦情等、利用者の意見を把握するために紙面によるアンケートを実施し、内容については月報にて大阪市に報告するとともに、必要に応じて大阪市との連絡調整会議の議題にあげました。

## ② 意見箱の設置

多様なご意見をお伺いするために、館内に自由記述形式の意見箱も設置し、寄せられた内容及び対応は、施設内の掲示板に掲出し、公表しました。

## ③ 要望・苦情対応

要望・苦情等については、協会が別に定める「要望・苦情対応要綱」に則り、迅速かつ適正に管理運営に反映させ、利用者満足度の向上に努めました。要望・苦情の事案によっては、大阪市との協議の上で対応しました。

・今年度の対応

ア) 予約がメールやメールフォームで出来ると大変ありがたいです。

→一部の主催、自主事業の予約についてはフォームで対応できるようにしました。

イ) 炊工具の汚れが少し気になりました。

→焦げつきがひどいものは都度回収し、洗浄しました。

ウ) オークサイトのトイレが子どもにとって使いづらい。

→引き続き、改善に向けて大阪市と協議を進めます。

## (4) 利用者アンケートの実施状況

多様な利用者の満足度を的確に把握するため、センター利用者へアンケートを実施し、利用者サービスの向上や運営の改善につなげました。

多様な利用者の満足度を的確に把握するため、センター利用者へアンケートを実施し、利用者サービスの向上や運営の改善につなげました。

① アンケート回収対象団体数・・・ 946件・回収数381件・回収率40%

② スタッフ対応満足度・・・ 満足94% 普通6% 不満0%

③ 施設利用満足度・・・ 満足88% 普通12% 不満0%

④ その他 感想、ご意見など

ア) アレルギー児童の食事など個別の対応もしてくださり感謝しております。保護者の方も大変喜んでおられました。2日間安心して過ごせました。

イ) スタッフの方の指導が的確でプログラムも充実しており安心して利用できます。

ウ) 毎年お世話になりましてありがとうございます。

エ) スタッフの方の対応が気持ちよく無事に1泊2日を終えることができました。

オ) 学校ではできないような体験ができ良かった。

## (5) 職員研修実績

センターの設置目的に沿い、より効果的・効率的な管理運営と良質なサービスを市民に提供するため、職員に対する研修を以下の通り行いました。

日程	研修内容	主催	受講人数
5/27	就業規則実務対応研修	全国公益法人協会	1名
5/30	応急手当普及員 再講習	大阪消防振興協会	1名
7/19.20	公正採用選考人権啓発推進員	大阪府	1名
8/22-24	キャンプディレクター養成研修	大阪市青少年活動協会	1名
9/6	消費税に関する研修	全国公益法人協会	1名
10/27.28	プール衛生管理者講習会	日本プールアムニティ協会	1名
11/9	人権スキルアップ講座	大阪市人権推進協議会	1名
11/24	人権研修	内部	13名
11/28	メンタルヘルスセミナー	大阪府社会保険協会	1名
12/25	上級救命講習	大阪消防振興協会	1名
1/16	施設見学研修	内部	7名
1/27	プログラム指導研修	内部	6名
2/10	プログラム指導研修	内部	6名
3/15	プログラム指導研修	内部	6名

## (6) 個人情報保護の取組状況

個人情報保護法及び大阪市個人情報保護条例に準拠し、適正な取扱いに細心の注意をもって取り扱いました。

### ① 個人情報の取扱い

取得した個人情報の適正な取扱いに関しては、当協会のプライバシーポリシー、個人情報保護規程、個人情報保護規程細則、個人情報取扱運用細則及び電子計算機処理システム運用規程に則り、個人の基本的人権を擁護するとともに適正かつ円滑な運用を行いました。

### ② 個人情報保護に関する体制

個人情報取扱責任者及び情報システム監督者を設置し、適正な保護・運用を行いました。また、個人情報取扱事務目録を作成し、求めに応じて閲覧に供せられるよう設置しています。

### ③ 個人情報保護に関する研修

職員・スタッフには個人情報保護の重要性の認識、及び適正な取扱いの周知徹底・実行についての教育を行いました。

ア) 個人情報保護基礎研修(新人研修)

イ) 個人情報保護実践教育

ウ) 個人情報取扱い前教育

## 5. 収支の状況

### (1) 令和4年度 管理に要した経費等の収支の状況

#### ①収入の部

(単位：円)

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計	
収入	業務代行料		60,973,862			
	小計			60,973,862		
	利用料収入		19,288,680			
	小計			19,288,680		
	その他収入	給食提供		24,432,746		
		体験事業等		1,063,800		
		厨房光熱水費		976,956		
小計			26,473,502			
収入合計					106,736,044	

#### ②支出の部

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計	
支出	人件費		51,711,976			
	小計			51,711,976		
	事務費	旅費交通費		189,882		
		通信運搬費		903,083		
		消耗品費		2,438,614		
	小計			3,531,579		
	施設管理費	設備維持費		6,423,642		
		什器備品費		222,383		
		燃料費		230,449		
		洗濯費		2,030,558		
		修繕費		3,914,173		
		保険料		607,925		
		給食業務委託料		3,960,000		
		衛生費		1,853,478		
	小計			19,242,608		
	光熱水費	電気		4,487,148		
		ガス		1,999,749		
水道			2,199,632			
小計			8,686,529			
その他	給食提供		21,230,112			
	体験事業等		982,794			
小計			22,212,906			
支出合計①					105,385,598	
租税公課	消費税		4,849,360			
	小計			4,849,360		
支出合計②					4,849,360	
支出総合計 ① + ②					110,234,958	

#### ③収支差額

収支差額					△ 3,498,914
------	--	--	--	--	-------------

(2) 令和4年度 自主事業に要した経費等の収支の状況

①収入の部

(単位：円)

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計
収入	プログラム物品提供		7,396,176		
		小計		7,396,176	
	生涯学習及び交流事業		1,060,620		
		小計		1,060,620	
	自販機飲料提供		171,946		
		小計		171,946	
	収入合計				

②支出の部

	項目	科目	科目金額	項目金額	合計	
支出	プログラム物品提供		3,604,231			
		小計		3,604,231		
	生涯学習及び交流事業		860,950			
		小計		860,950		
	支出合計①					4,465,181
	環境整備		633,342			
		小計		633,342		
支出合計②					633,342	
支出総合計 ① + ②					5,098,523	

③収支差額

収支差額	3,530,219
------	-----------

(3) 経費等の収支の状況 (収支差額総括)

(単位：円)

管理に要した経費等の収支差額	△ 3,498,914
自主事業に要した経費等の収支差額	3,530,219
管理・自主事業に要した経費等の収支差額	31,305

令和4年度 信太山青少年野外活動センター 月別開館稼働率・施設稼働率・宿泊稼働率・日中稼働率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計(累計)比		
															前年度数値	%	
信太山 青少年の家	開館日数	30	26	26	28	31	26	26	26	26	19	25	28	317	268	118.3%	
	宿泊可能日数	30	21	22	25	31	22	21	22	22	15	22	25	278	234	118.8%	
	開館利用率	利用日数	27	24	25	27	30	22	19	30	14	8	15	18	259	175	148.0%
		開館利用率	90.00	92.31	96.15	96.43	96.77	84.62	73.08	115.38	53.85	42.11	60.00	64.29	81.70	65.30	125.1%
	施設稼働率	利用部屋数	393	449	404	384	438	298	350	292	256	136	220	232	3,852	2,336	164.9%
		部屋定数(24)	720	504	528	600	744	528	504	528	576	360	528	600	6,672	5,616	118.8%
		施設稼働率	54.58	89.09	76.52	64.00	58.87	56.44	69.44	55.30	44.44	37.78	41.67	38.67	57.73	41.60	138.8%
	宿泊利用率	宿泊者数	1,593	1,255	1,498	1,681	1,356	963	745	801	579	291	430	849	12,041	6,152	195.7%
		宿泊定員(200)	6,000	4,200	4,400	4,800	6,200	5,200	5,200	6,000	5,200	3,000	4,400	4,800	55,600	46,800	118.8%
		宿泊利用率	26.55	29.88	34.05	35.02	21.87	18.52	14.33	13.35	11.13	9.70	9.77	17.69	21.66	13.15	164.7%
	日中利用率	日中利用者数	2,338	1,781	1,588	1,813	1,895	1,413	933	1,030	1,204	365	1,540	1,111	17,011	8,118	209.5%
		日中定員(200)	6,000	4,200	5,200	5,400	6,200	5,200	5,200	6,000	5,200	3,800	5,000	5,600	63,400	53,600	118.3%
日中利用率		38.97	42.40	30.54	33.57	30.56	27.17	17.94	17.17	23.15	9.61	30.80	19.84	26.83	15.15	177.2%	
信太山 キャンプ場 (宿泊)	開館日数	30	26	26	27	31	26	26	30	26	19	25	28	320	268	119.4%	
	宿泊可能日数	30	21	22	24	31	26	26	30	26	15	22	24	297	234	126.9%	
	開館利用率	利用日数	21	13	10	9	17	13	11	12	9	7	7	10	139	108	128.7%
		開館利用率	70.00	50.00	38.46	33.33	54.84	50.00	42.31	40.00	34.62	36.84	28.00	35.71	43.44	40.30	107.8%
	施設稼働率	利用サイト数	50	31	20	19	30	19	21	24	25	9	6	19	273	185	147.6%
		サイト定数(3)	90	63	66	75	93	66	63	66	72	45	66	75	891	702	126.9%
		施設稼働率	55.56	49.21	30.30	25.33	32.26	28.79	33.33	36.36	34.72	20.00	9.09	25.33	30.64	26.35	116.3%
	宿泊利用率	宿泊者数	1,040	304	287	207	248	147	148	144	84	53	38	144	2,844	1,542	184.4%
		宿泊定員(190)	5,700	3,990	4,180	4,560	5,890	4,940	4,940	5,700	4,940	2,850	4,180	4,560	56,430	44,460	126.9%
		宿泊利用率	18.25	7.62	6.87	4.54	4.21	2.98	3.00	2.53	1.70	1.86	0.91	3.16	5.04	3.47	145.3%
	日中利用率	日中利用者数	1,511	426	374	291	356	220	273	227	98	77	55	250	4,158	2,179	190.8%
		日中定員(190)	5,700	3,990	4,940	5,130	5,890	4,940	4,940	5,700	4,940	3,610	4,750	5,320	60,800	50,920	119.4%
日中利用率		26.51	10.68	7.57	5.67	6.04	4.45	5.53	3.98	1.98	2.13	1.16	4.70	6.84	4.28	159.8%	
信太山 キャンプ場 (日帰り)	開館日数	30	26	26	27	31	26	26	30	26	19	25	28	320	268	119.4%	
	開館利用率	利用日数	19	23	26	21	21	20	20	19	10	9	8	14	210	145	144.8%
		開館利用率	63.33	88.46	100.00	77.78	67.74	76.92	76.92	63.33	38.46	47.37	32.00	50.00	65.63	54.10	121.3%
	施設稼働率	利用サイト数	63	114	103	53	36	44	51	66	32	15	19	39	635	369	172.1%
		サイト定数(7)	210	182	182	196	217	182	182	182	182	133	175	196	2,240	1,876	119.4%
	日中利用率	施設稼働率	30.00	62.64	56.59	27.04	16.59	24.18	28.02	36.26	17.58	11.28	10.86	19.90	28.35	19.67	144.1%
		日中利用者数	2,539	3,638	3,430	2,043	1,124	1,350	2,352	2,579	2,241	1,227	887	1,458	24,868	15,254	163.0%
		日中利用定員	12,000	10,400	10,400	10,800	12,400	10,400	10,400	12,000	10,400	7,600	10,000	11,200	128,000	107,200	119.4%
日中利用率	21.16	34.98	32.98	18.92	9.06	12.98	22.62	21.49	21.55	16.14	8.87	13.02	19.43	14.23	136.5%		

注1. 開館稼働率は、該当月の合計利用日数を、該当月の開館日数で除したものである。

注2. 施設稼働率は、該当月の利用した部屋又はサイトの合計数を、部屋数又はサイト数に該当月の開館日数又は宿泊日数を乗じた数で除したものである。

注3. 宿泊利用率は、該当月の宿泊利用者数を、宿泊利用定員に該当月の宿泊可能日数を乗じた数で除したものである。

注4. 日中利用率は、該当月の日中利用者数を、日中利用定員に該当月の開館日数を乗じた数で除したものである。